

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月29日 (2018.3.29)

【公開番号】特開2017-21065(P2017-21065A)

【公開日】平成29年1月26日 (2017.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2017-004

【出願番号】特願2015-135913(P2015-135913)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/16 1 0 3

G 0 3 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月19日 (2018.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

像担持体との間で記録媒体を挟み込み該像担持体から該記録媒体に画像を転写する転写部を形成する転写部材と、
前記像担持体と前記転写部材とを接離させる回転可能なカム部材を有する接離手段とを備えた転写装置において、
前記カム部材と対向する対向部材と当たり、前記像担持体と前記転写部材との離間量が互いに異なるような、前記カム部材の一つの連続した傾斜面上における複数の位置を用いて、記録媒体が前記転写部に進入するときの前記離間量を、該記録媒体の厚さに応じた大きさとなるように、前記接離手段を制御する制御手段を有することを特徴とする転写装置。

【請求項 2】

像担持体との間で記録媒体を挟み込み該像担持体から該記録媒体に画像を転写する転写部を形成する転写部材と、
前記像担持体と前記転写部材とを接離させる回転可能なカム部材を有する接離手段とを備えた転写装置において、
前記カム部材は、前記カム部材と対向する対向部材と当たり前記像担持体と前記転写部材との離間量が最大離間量となる第一周面部と、前記対向部材と当たらず前記像担持体と前記転写部材とが接触する第二周面部とを有しており、
前記カム部材の前記第一周面部よりもカム部材回転方向片側で前記第一周面部と前記第二周面部とを繋ぐ周面上における、前記離間量が前記第一周面部よりも小さく互いに異なるような複数の位置を用いて、記録媒体が前記転写部に進入するときの前記離間量を、該記録媒体の厚さに応じた大きさとなるように、前記接離手段を制御する制御手段を有することを特徴とする転写装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の転写装置において、
前記カム部材は、前記対向部材と当たり前記像担持体と前記転写部材との離間量が最大離間量となる第一周面部と、前記対向部材と当たらず前記像担持体と前記転写部材とが接触する第二周面部とを有しており、
前記傾斜面は、前記カム部材の前記第一周面部よりもカム部材回転方向片側で前記第一周

面部と前記第二周面部とを繋ぐことを特徴とする転写装置。

【請求項 4】

請求項 2 または 3 に記載の転写装置において、
前記対向部材と前記第一周面部とが当たる前記カム部材の回転位置が、該カム部材の回転位置の基準となるホームポジションであることを特徴とする転写装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の転写装置において、
前記第一周面部は平面状であることを特徴とする転写装置。

【請求項 6】

請求項 1、2、3、4 または 5 に記載の転写装置において、
前記制御手段は、記録媒体が前記転写部に進入するときの前記離間量を、前記 2 つ以上の位置を用いて、記録媒体の種類にも応じた前記離間量となるように、前記接離手段を制御することを特徴とする転写装置。

【請求項 7】

請求項 1、2、3、4、5 または 6 に記載の転写装置において、
記録媒体が転写部に入る前に、前記像担持体と前記転写部材とが離間した離間状態から該離間状態よりも前記離間量が小さい予備離間状態に移行して停止しおり、記録媒体が転写部に入るタイミングにあわせて、前記予備離間状態から前記像担持体と前記転写部材とが当接する当接状態に移行することを特徴する転写装置。

【請求項 8】

請求項 1、2、3、4、5、6 または 7 に記載の転写装置において、
記録媒体の厚さに関する情報を取得する記録媒体厚さ情報取得手段を有しており、
前記制御手段は、前記記録媒体厚さ情報取得手段の取得した前記情報に基づいて、前記接離手段を制御することを特徴とする転写装置。

【請求項 9】

請求項 1、2、3、4、5、6、7 または 8 に記載の転写装置において、
記録媒体の種類に関する情報を取得する記録媒体種類情報取得手段を有しており、
前記制御手段は、前記記録媒体種類情報取得手段の取得した前記情報に基づいて、前記接離手段を制御することを特徴とする転写装置。

【請求項 10】

請求項 1、2、3、4、5、6 または 7 に記載の転写装置において、
記録媒体に関する情報である記録媒体情報に対応させて予め設定された前記離間量を記憶する記憶手段を有しており、
前記制御手段は、前記記録媒体情報に応じた前記離間量を前記記憶手段から取得して、前記接離手段を制御することを特徴とする転写装置。

【請求項 11】

像担持体と転写部材との当接による転写部に挟み込んだ記録媒体に対して、該像担持体の表面に担持されるトナー像を転写する転写手段を備えた画像形成装置において、
前記転写手段として、請求項 1 乃至 10 のいずれか一記載の転写装置を用いたことを特徴とする画像形成装置。